



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地震発生後の病院職員による対応訓練などの実施は、各自が何をすべきかを自覚させるために必要である。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	災害時医療拠点病院として機能するよう、毎年継続して訓練することにより有効となる。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	災害時における病院機能を発揮するため、地域住民の参加を目指した実践的な訓練を展開するため、その事前準備として各職場における防災対策への意識付けができ、妥当である。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	県などが主催する研修会等に参加し、最新の訓練を院内に取り入れることができ、大きな成果を上げることができた。	● 高 ○ 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 地域住民が訓練への参加の意義をどのように理解してもらえるかが課題である。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				県の研修や市内で開催される訓練などに参加	院内での実践的な訓練の実施	地域住民も参加する訓練の実施		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	60	300	300	300	0
事業費 (A)		0	0	60	300	300	300	0
執行率 (%)		0.00	0.00	20.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,679	1,679	1,679	1,679	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,739	1,979	1,979	1,979	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続 ●拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合	
<判断理由> 地域住民も参加する実践的な災害対応訓練などを実施する。	
平成21年度 of 取組方針	
地域住民も参加する実践的な災害対応訓練などを実施する。	
課長コメント	災害時に医療拠点病院としての機能を発揮するため、地域住民の理解を得た上で、実践的な訓練を実施する。